

平成29年度に実施した主な事業

教育と人づくり

- 英語教育の強化……………3億4,247万円
- 小・中学校の校舎等整備事業……………17億7,509万円
- 榛名林間学校榛名湖荘の開校・運営……………8,772万円

安心・安全な地域社会づくり

- 防犯カメラ及びごみステーション見守りカメラの増設……………8,952万円
- 高浜クリーンセンター建替事業……………1,257万円
- 小学校周辺道路などの交通安全対策工事……………1億7,199万円
- 防災情報放送システムの整備……………6,206万円

産業の振興

- 農業者の新規事業などを総合的に支援……………1億3,899万円
- まちなか商店リニューアル助成……………2億7,314万円

やさしい眼差しに満ちた市政

- 高齢者等あんしん見守りシステムの拡充……………2億6,525万円
- 私立保育所などの施設整備を支援……………3億1,105万円
- 子育てなんでもセンターの開館・運営……………9,063万円
- 各種がん検診事業……………4億4,682万円



子育て支援の拠点「子育てなんでもセンター」

大勢の人が歩き、にぎわう街

- 高崎アリーナシャトルバスの運行を支援……………2,627万円
- 高崎駅周辺ペDESTリアンデッキ等整備事業……………19億8,678万円
- 高崎芸術劇場建設事業……………72億1,310万円
- 観音山公園(カッパピア跡地)の整備・運営……………3億8,061万円

合併した地域の個性を活かした魅力づくり

- 倉淵・榛名・吉井地域への移住・定住を促進……………1,994万円
- くらぶち英語村の整備……………4億5,545万円

文化と歴史を活かした創造的な高崎

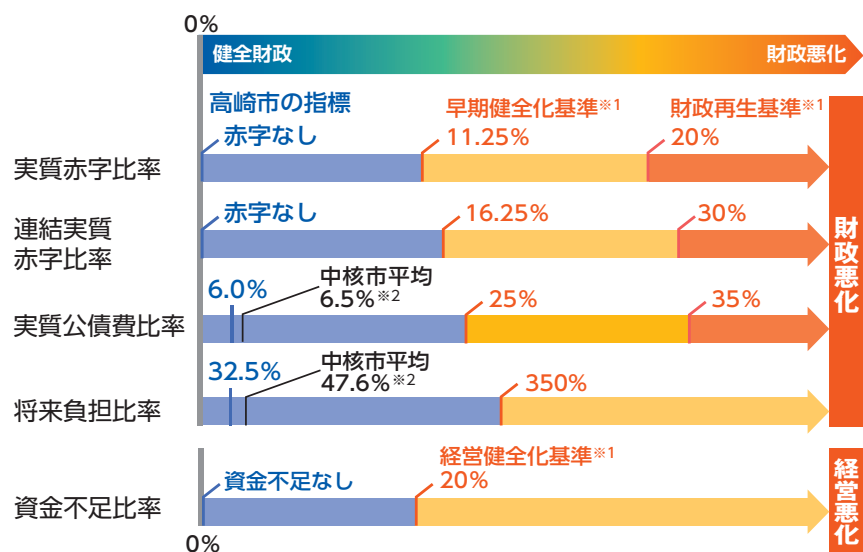
- 高崎音楽祭の開催支援……………2,900万円
- 浜川運動公園の拡張整備……………11億6,800万円
- 上野三碑「世界の記憶」登録推進事業……………3,287万円

本市全体の財政状況指標

平成29年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」の規定による健全化判断比率と資金不足比率を算定しました。本市は、

いずれの指標も財政健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本市の財政状況は健全な状態にあることが分かります。

財政の健全化判断比率と資金不足比率



※1 基準を超えた場合は、財政健全化や財政再生の手続きに入らなければなりません

※2 中核市平均は速報値

※3 対象となるのは、水道事業会計、公共下水道事業会計、牛伏ドリームセンター事業特別会計、簡易水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計

用語解説

実質赤字比率
一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の程度

連結実質赤字比率
全ての会計を合わせた赤字の程度

実質公債費比率
公債費（借入金の返済）とこれに準ずる経費の程度

将来負担比率
企業会計、出資法人も含めた将来の支払い予定額の程度

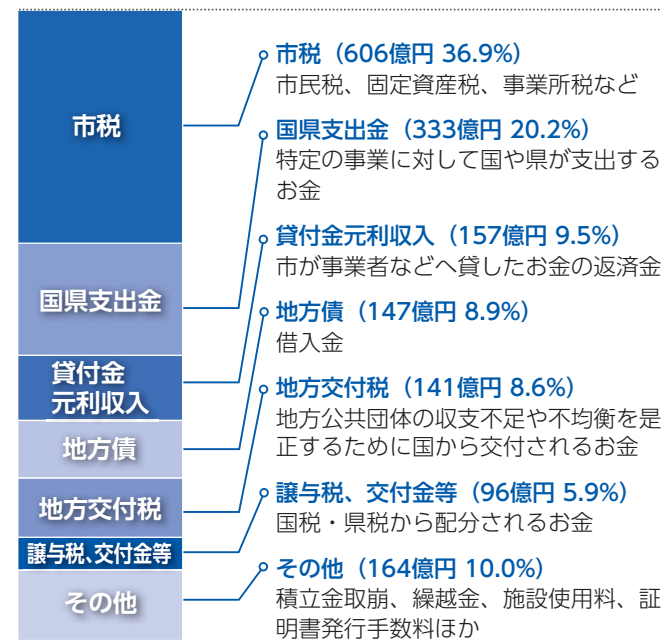
資金不足比率
公営企業会計ごとに事業規模から見た資金不足の割合

お知らせします 税金の使い道 平成29年度 決算概要

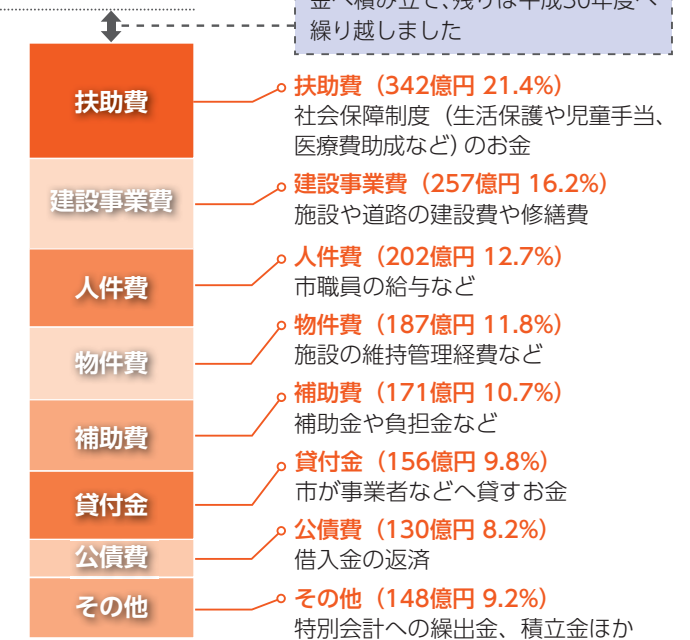
平成29年度の各会計決算が、監査委員の審査を経て、平成30年第4回市議会定例会で認定されました。今回号では、市民の皆さんが納めた税金が、市の財政でどのように使われているかをお伝えします。問い合わせは、財政課（☎321-1214）へ。

一般会計

歳入
1,644 億円

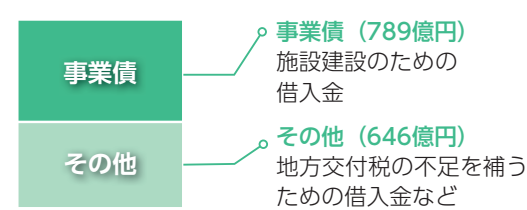


歳出
1,593 億円

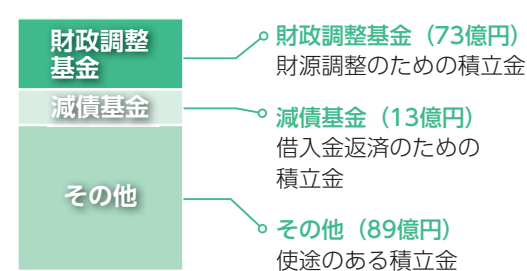


収支51億円の黒字
51億円のうち31億円は財政調整基金へ積み立て、残りは平成30年度へ繰り越しました

地方債(借入金)残高 1,435億円



基金(積立金)残高 175億円



特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	445億9,284万円	418億9,213万円
介護保険	330億 922万円	321億4,287万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,974万円	1億 795万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	8,352万円	4,996万円
後期高齢者医療	44億1,387万円	43億7,102万円
簡易水道事業	1億4,972万円	1億 862万円
農業集落排水事業	1億6,207万円	1億6,078万円
駐車場事業	2億8,404万円	2億8,403万円
土地取得事業	8億1,828万円	8億1,828万円